

感染症の流行・発生状況について
2026年第24週(6月8日～6月14日)診断分

● 県全体の警報・注意報

警報	なし
注意報	なし

● 各保健所の警報レベル・注意報レベル

警報レベル	注意報レベル
南部・八重山: 流行性角結膜炎 八重山: 手足口病	

● 2026年第24週 南部保健所管内の全数報告について ※先週までの訂正追加報告も含む

《二類感染症》 ・結核:16件	
--------------------	--

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

1) 麻しん(はしか)
県内では今年2例の麻しんの報告がありました。
全国的に麻しんが発生しております。
・旅行先の感染状況を把握しましょう。
帰宅後は潜伏期間の5～14日(最長21日)は体調を確認しましょう。
・38℃前後の発熱、咳、鼻水、結膜充血、発疹などの症状がある場合は、医療機関に電話をした上で受診をしてください。
・自身のワクチンの接種回数を確認しておきましょう。
MRワクチン定期接種年齢のお子様(1歳、小学校入学前の1年間)は早めに接種しましょう。

2) 手足口病
全国で手足口病が第16週から増加傾向で、第17週から過去5年平均を上回っています。沖縄県も同様に第17週から増加傾向(第24週 定点あたり2.21人/定点)で、第23週から過去5年平均を上回っています。

3) 流行性角結膜炎
南部保健所管内において、2026年第24週において定点当たり7.67人(報告数23人)となっており引き続き警報発令中です。
流行性角結膜炎は、眼瞼(まぶた)の浮腫、流涙(なみだ目)、耳前リンパ節の腫脹などを特徴とする目の感染症です。目からの分泌物を介して感染するため、分泌物の適切な処分、手洗いの励行、タオルや目薬など目に接触するものの共用は避けましょう。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	21週	22週	23週	24週	24週	21週	22週	23週	24週	24週
		5/18	5/25	6/1	6/8	(定点あたり報告数)	5/18	5/25	6/1	6/8	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	69	49	35	34	(0.77)	28	23	21	13	(1.08)
咽頭結膜熱	小児科	11	13	11	18	(0.75)	1	1	1	3	(0.50)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	33	23	16	21	(0.88)	7	6	5	0	(0.00)
感染性胃腸炎	小児科	80	63	102	81	(3.38)	40	32	41	50	(8.33)
水痘	小児科	9	11	9	3	(0.13)	5	8	7	1	(0.17)
手足口病	小児科	15	31	44	53	(2.21)	5	20	15	15	(2.50)
伝染性紅斑	小児科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
突発性発疹	小児科	6	14	9	5	(0.21)	2	2	2	2	(0.33)
ヘルパンギーナ	小児科	19	10	10	24	(1.00)	11	4	6	10	(1.67)
流行性耳下腺炎	小児科	3	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	1	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	19	26	33	31	(3.44)	12	15	24	23	(7.67)
細菌性髄膜炎	基幹	2	1	0	0	(0.00)	0	1	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	1	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	0	0	0	1	(0.14)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	35	36	38	32	(1.33)	14	15	12	10	(1.67)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	22	18	9	6	(0.14)	5	3	1	2	(0.17)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。